

コンチェルト

Concerto
～ともに奏でる～

上白根病院の消化器治療
体に負担の少ない
「腹腔鏡手術」

[専門外来] 禁煙外来
「ニコチン依存症」は治療が必要な病気です

上白根のひと ～上白根病院スタッフ紹介～
地域連携のわ ～あさひ台クリニック・高橋内科クリニック～

夏 号
04
Summer 2020

KAMISHIRANE HOSPITAL NEWS

マスク等医療物資ご支援のお礼

新型コロナウイルス感染拡大が続く中、医療従事者への支援として個人・企業・団体の皆様からマスクを中心に多くの医療物資のご寄付をいただきました。物資が足りず現場が本当に困っているとき、皆様からのご支援がどれほど私どもに勇気を与えてくださったか…。この場を借りて、皆様からのご厚意に心より感謝申し上げます。これからも全職員が一丸となって、地域の中心となる病院としていつでも安心できる医療を心を込めて提供できるよう努めてまいります。

医療法人社団 恵生会 上白根病院
院長 大矢 直子

新型コロナウイルス感染症対策の取り組みについて

患者様に安心してご来院いただくために、以下取り組みを行っております。皆様のご理解・ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

発熱患者専用ブース

熱症状のある患者様については、通常外来とは別ブースでの診療を行なっています。



面会の制限

特別な場合を除き、面会を制限させていただいております。



公衆衛生管理

職員の手指消毒・マスク着用を徹底しております。また、来院される患者様にもお願いしております。



胸部CTの施行

入院患者様には入院前に胸部レントゲン・胸部CTを施行しています。



定期的な清掃・換気

座席や手すりなど多くの方が触れる場所を定期的に除菌清掃し、適宜換気を実施しています。



委員会による巡視

院内感染防止対策委員会による週1回の巡視を実施し、感染防止の強化に努めています。



体に負担の少ない

「腹腔鏡手術」

上白根病院では、入院・手術治療を要するものは消化器疾患が中心であり、地域に密着した急性期病院として、虫垂炎や急性胆のう炎、腸閉塞の入院、緊急手術症例を積極的に受け入れていきます。手術症例では患者様にストレスの少ない腹腔鏡手術を積極的に導入し、平均在院日数でも全国平均に比較し短縮が得られております。悪性疾患においても胃がん・大腸がんを中心に腹腔鏡手術や化学療法など集学的治療を行っています。

「腹腔鏡手術」とは

胃がん・大腸がんをはじめ、消化器疾患の手術には主に開腹手術と腹腔鏡手術があります。開腹手術は従来から行なわれている20cm前後の大きな傷をつけて開腹する方法で、創痛が強い、整容的に傷が目立つなどのデメリットがあります。

腹腔鏡手術は、お腹を大きく切らずに、5〜10mmの穴を数か所開け、穴からポートという筒状の器具を挿入したあと、ポートから二酸化炭素を送り込みお腹を膨らませてお腹の中の様子を観察しやすくします。そのポートから腹腔鏡（内視鏡の一種）をお腹

の中に挿入して胃、大腸、胆嚢などの臓器をモニターに映し出します。残った穴より鉗子などの器具を数本、お腹の中に挿入し、モニターに映しだされた消化管にある病変（がんなど）や周囲のリンパ節の切除を行います。

腹腔鏡手術のメリット

腹腔鏡手術の一番のメリットは「低侵襲」であること、つまり体への負担が少ないことです。具体的には「傷が小さい・目立たない」「創部痛が少ない」「早期離床が可能である」「早期退院が可能である」などが挙げられます。しかし、通常の開腹手術に比べ高度な技術が必要であり、やや時間がかかることがデメリットとされています。また癌の浸潤や周りの臓器の状況によっては開腹手術へ変わってしまうことがあります。手術が必要な場合は、メリット・デメリットをしっかりと説明し納得していただいたうえで決めていきます。

対象となる疾患は

当院では、虫垂炎（盲腸）、胆石・胆のう炎、そけいヘルニア、腸閉塞などの良性疾患に対して患者様の状態に応じて積極的に腹腔鏡手術をおすすめしています。

がんの治療について

悪性疾患（がん）に対しては胃がん、大腸がんを中心に腹腔鏡手術を行なっていますが、悪性疾患（がん）で進行している場合は、がんの取り残しがないように開腹手術でがんを含め大きく取る必要があります。基本的にはあまり癌細胞の浸潤が深くないこと、術前検査でリンパ節に転移や遠隔転移が無いことが判明している時に腹腔鏡手術を選択しています。

悪性疾患（がん）の治療は手術療法だけではありません。患者様により良好な結果をもたらすように、集学的治療として疾患の状態に応じて術前術後に行う抗がん剤や分子標的薬による化学療法、放射線治療のマネージメントも行なっております。

当院では、近隣にあります神奈川県川島立がんセンターや大学病院と連携を図りながら、患者様の病態に見合った最適な治療方針

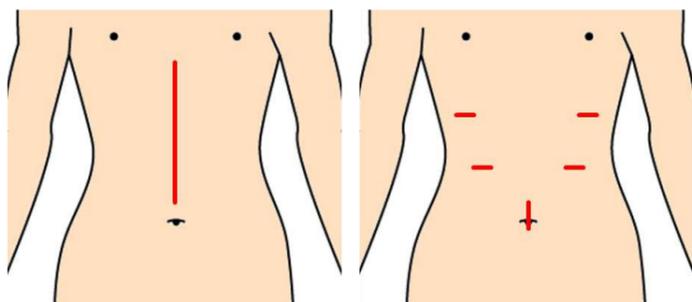
を決めていきます。

定期的な検診を

胃がん・大腸がんは悪性疾患（がん）の死亡原因トップ3に入っています。厚労省では胃がんは2年に1回の胃カメラ検査（50歳以上）、大腸がんは1年に1回の便潜血検査（40歳以上）を推奨しています。その他の消化器

がんにおいては公的制度はありませんが、人間ドックなどで見つ可能性もあるため、消化器がんの危険因子である喫煙や飲酒、食生活の乱れ・肥満などの生活習慣がある40歳以上の方は年1回の人間ドックを受け、早期発見・早期治療につながる心がけが大切です。心配なことがありましたら、いつでもご相談ください。

胃がんに対する手術の例



開腹手術の傷

腹腔鏡手術の傷

● 2018年 がん死亡数が多い部位順

	1位	2位	3位	4位	5位
男性	肺	胃	大腸	膵臓	肝臓
女性	大腸	肺	膵臓	胃	乳房
男女計	肺	大腸	胃	膵臓	肝臓

（資料）厚労省・人口動態統計による全国がん死亡データより



先生、教えて！
消化器外科 外科部長
村上 仁志（むらかみ ひとし）

日本外科学会専門医
日本がん治療認定医
日本消化器外科学会専門医・指導医
日本プライマリ・ケア連合学会認定医



毎年開催される病院祭で「手術室見学会」を実施しています。実際に手術室の中に入り、外科医師の話聞くことができます。

[専門外来]
禁煙外来

「ニコチン依存症」は 治療が必要な病気です

受動喫煙防止を主な目的とした「改正健康増進法」が4月より全面施行され、多くの施設が「原則屋内禁煙」となりました。この機会に喫煙生活を見直してみませんか？
なかなかやめられない方は、禁煙外来を受診しましょう。

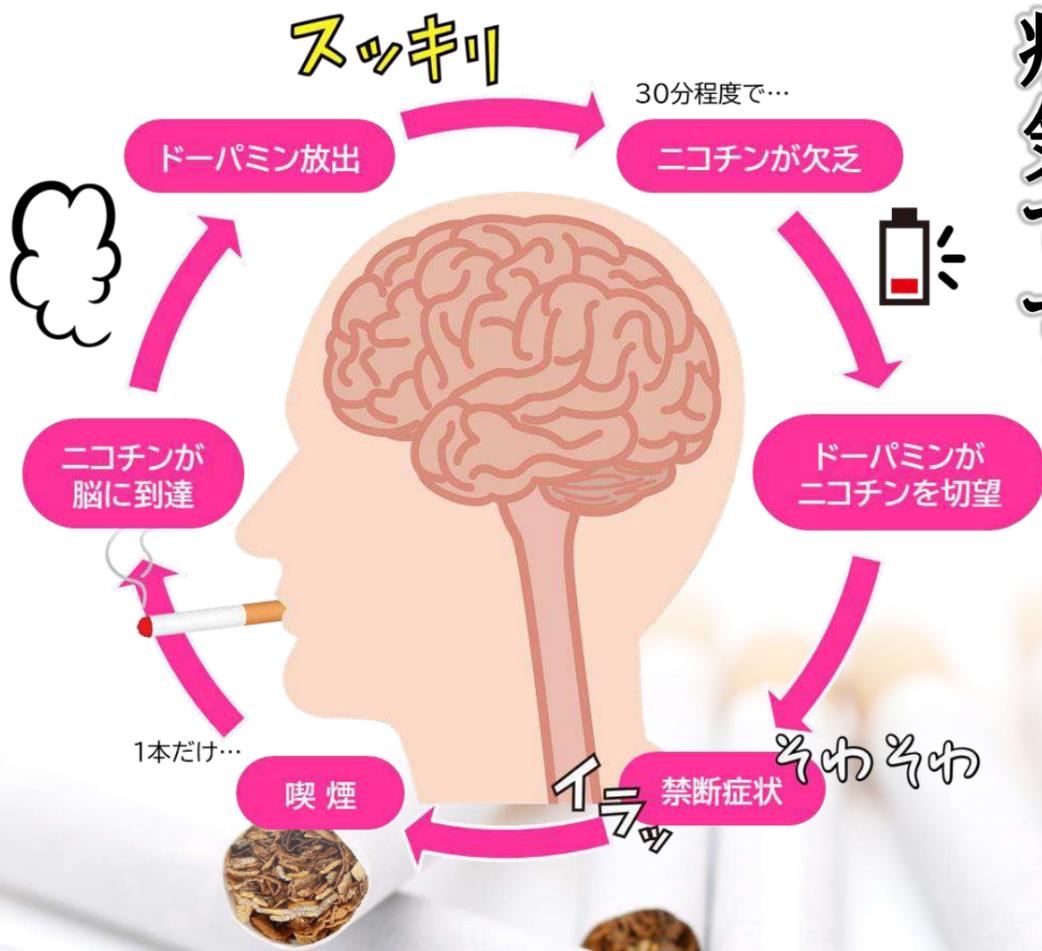
どうしてタバコはやめられないの？

タバコの一番の害は「ニコチン」です。ニコチンはタバコを吸って10秒以内に脳に達します。ニコチンは脳細胞にくっつくことで快感を生む物質・ドーパミンを出し、一時的に思考が活発になったり、気分が落ち着いたりすることがあります。しかし、ニコチンはすぐに消えてしまうため、ドーパミンが快感を回復しようとニコチンを切望することで、イライラや落ち着かない

どの禁断症状（離脱症状）が起こり、それを解消しようとしてまたタバコを吸ってしまう…これが習慣化すると自力ではなかなかやめられなくなり、「ニコチン依存症」になっていきます。

どこからニコチン依存症？

では、どこから治療が必要なのか。当院を含む多くの禁煙外来では、まず「ニコチン依存症スクリーニングテスト(TDS)」を行



禁煙のメリット

禁煙のメリットは、タバコをやめた時点から、さまざまな効果を実感できます。

たとえば、タバコをやめた直後から、家族や周囲の人が受動喫煙を受けるリスクがなくなり、また、衣服や部屋、車にタバコのおいがつくこともなくなり、周囲が不快に感じることもなくなります。タバコをやめて数

ニコチン依存症診断テスト(抜粋) 「はい」に○をつけてください

- | | | |
|--|----|-----|
| 最初に吸うつもりよりも、ずっと多くのタバコを吸ってしまいましたか？ | はい | いいえ |
| 禁煙や本数を減らそうとして、できなかったことがありますか？ | はい | いいえ |
| 禁煙したり本数を減らそうとしたときに、タバコが欲しくて欲しくてたまらなくなることがありましたか？ | はい | いいえ |
| 禁煙したり本数を減らしたときに、「イライラ・落ち着かない・憂うつ・頭痛・眠気・手の震え」などが起きたことがありましたか？ | はい | いいえ |
| タバコのために健康に問題が起きていると分かっても吸うことがありましたか？ | はい | いいえ |
| 自分はタバコに依存していると感じることがありましたか？ | はい | いいえ |

※最終的なニコチン依存症の診断は医師が行います。

右図の診断テストで「はい」が3つ以上あてはまる方はニコチン依存症の可能性が、こちらでもチェックしよう！

厚生労働省
生活習慣病予防のための健康情報サイト
「e-ヘルスネット」



日後には、味覚や嗅覚が鋭敏になり、食べ物をおいしく感じるようになります。そのほかにも、目覚めがよくなったり、肌の調子がよくなる、口臭がなくなるなど、日常生活の中で効果を実感できます。

さらに禁煙を1ヶ月続けると、

咳やたん、喘鳴などの呼吸器の症状が改善します。呼吸器の機能は禁煙の継続とともにさらに良くなっていき、1年後には、COPD患者さんの肺の機能に改善がみられます。

禁煙期間が2〜4年もすれば、狭心症や心筋梗塞などの心臓の病気のリスクが、タバコを吸う人と比べて著しく低下します。10年を経過すると、がんのリスクも低下します。10〜15年経つと、咽頭がんのリスクが、タバコを吸う人と比べて60%も低下します。また、10〜19年で、肺がんのリスクが、タバコを吸う人と比べて70%も低下します。さらに、20年で口腔がんのリスクが、タバコを吸わない人と同レベルになります。

このように、禁煙の生活が長くなればなるほど、タバコを吸わない人と同じ健康状態に近づきます。禁煙が遅いということはありませぬ。この機会に喫煙生活を見直してみよう。

地域医療を担う近隣医院との病診連携を図り、
切れ目のない医療をお届けします

- 自宅や職場近くでかかりつけ医をお探しの方
- 現在お薬の処方のみでご受診の方(急性期治療を終えた方)

当院「医療ネットワーク」にて、地域のかかりつけ医をご紹介します。
詳しくは診察時に医師へお申し付けいただくか、受付へお声がけください。



地域連携の

旭区 あさひ台クリニック 一般内科・小児科・呼吸器内科



院長：白田 亮介 先生

受付時間	月	火	水	木	金	土	日祝
9:00~12:30	●	●	●	/	●	●	/
15:00~18:30	●	●	●	/	●	▲	/

▲…土曜午後は12:30~13:30

当院は、内科・小児科・呼吸器内科をメインに、糖尿病や高脂血症、高血圧といった生活習慣病、アレルギー疾患、皮膚疾患などの診療、ワクチンや健診などの予防医学も対応させていただきます。とくに長引く咳には、専門的な診療をおこない、鼻からのど、気管支、肺に至るまでの気道に対する治療を総合的に行っていきます。お困りの症状を詳しくお聞きし、適切な検査・診断し、わかりやすい説明をこころがけていきます。赤ちゃんからご高齢の方までどなたでもお気軽にご相談ください。



〒241-0004
横浜市旭区中白根3-1-38
(旭台中央公園に隣接しています)
TEL 045-955-2501

● 相鉄本線「鶴ヶ峰駅」から相鉄バス8番乗り場「旭12」「旭10」系統から「旭台」バス下車すぐ

旭区 高橋内科クリニック 内科・生活習慣病・肝臓内科・消化器内科



院長：高橋 裕 先生

受付時間	月	火	水	木	金	土	日祝
9:00~12:00	●	●	/	●	●	●	/
15:00~18:00	●	●	/	●	●	/	/

当院は内科、肝臓内科、消化器内科を中心に腹部超音波検査、胃カメラ検査、ピロリ菌検出などを行っております。

大学病院、地域急性期病院、回復期病院などを消化器内科医として勤務したこれまでの経験を生かし、地域に密着した「かかりつけ医」として、なんでも気軽に相談していただける医療を提供していきます。

患者さんとのコミュニケーションを大切に親身な診察を行ってまいりますので、どうぞお気軽にご来院下さい。



〒241-0004
横浜市旭区中白根2-50-15
TEL 045-958-1055

● 相鉄本線「鶴ヶ峰駅」から相鉄バス8番乗り場「旭12」系統から終点「旭台」バス下車徒歩3分

上白根病院にはどんな人がいて、どんな思いを胸に働いているのか…ちょっと気になりますよね。少しでも安心して病院に来ていただくよう当院スタッフを紹介させていただきます！
今回は、4月より新たに外科の田邊医師を迎えましたので、インタビューしました。

診察室

外科
田邊 美恵 (たなべ みえ)
出身校：東京女子医科大学
外来日：水曜午前・土曜午前



File.3 #外科医の田邊です

上白根のひと

上白根病院のスタッフ紹介

外科医師を目指したきっかけは何ですか？

研修医時代に様々な診療科を回り、一番心揺さぶられたのが外科でした。患者さんの症状や訴えに対し、処置をして回復につなげることは医者全般の役割ですが、手術という手段での直接的な治療にや

りがいと魅力を感じました。

医師をしていてよかったと思うエピソードは？

やはり、患者さんが元気な姿で退院していくのが一番です。ほんの少しとはいえ、我々は患者さんの人生に関わっているので退院

の時は少し寂しくもあるのですが、それ以上に嬉しさややりがいを感じています。

医師として大切にしていることは？

コミュニケーションをしっかりとることを意識しています。手術の規模に関わらず患者さんやご家族にとっては一大事であり、不安も多いと思います。なるべくわかりやすい言葉で納得いくまで説明するよう心がけています。

休日は何をしていますか？

休日は、愛犬こまめとドライブし、美味しいランチを食べに行くことが多いです。一緒にいたすぎて、友人と会う時も大抵連れて行っちゃいます(笑)

最後に皆さんへ一言！

当院の外科スタッフは3人体制と決して多くはありませんが、その分意思の疎通は万全で、何事においても風通し良好のコミュニケーションで頑張っています。今後も患者さんにとって、よりよい治療を行っていきけるよう努めてまいります。



▲田邊先生が溺愛する愛犬こまめちゃん。右の写真はまるでぬいぐるみのよう！飼い主に似るとよく聞きますが、田邊先生のやわらかい雰囲気さがそっくりです！